

平成29年度 高原町立後川内中学校 学校関係者評価書

4段階評価 [1:改善を要する 2:やや期待を下回る 3:ほぼ期待通り 4:期待以上]

	本年度の重点目標	学校自己評価の結果の考察・分析及び改善策等	自己 評定	学校関係 者評価	学校関係者評価コメント	
確 かな 学 力	【確かな学力の育成】	2年生は多くの教科が地区平均以上で、1年生は5教科総合の平均が地区平均以下だった。重点支援校訪問や授業に関わる研修等で各教科とも授業の工夫・改善がみられた。学力差対策を含め、少人数ならではの個別指導を更に充実させたい。また、コンテスト実施で家庭学習を改善したい。	2.9	3.5	生徒が理解しやすいように授業の工夫・改善を図っていることが分かった。次年度からは家庭学習の改善に取り組んだり、少人数なので、更に個に応じた指導を充実させたりして、生徒たちに確かな学力を身に付けさせてほしい。家庭での読書の量が気になる、小学生への読み聞かせなどを更に取り入れて、読書活動を推進してもらいたい。	
	1 指導力の工夫・改善と個別指導の徹底	昨年より学校図書をよく利用している。家庭では保護者ほもっと読んでほしいと感じている。図書司書と更に読書活動を推進していく。	3.0			
	2 読書活動の推進(学校司書との連携)	職場体験学習や農業体験、職業講話、進路に関する学級活動等で望ましい職業観が身に付きつつあるが、講話を聞く機会を更に増やしていきたい。	2.9			
豊 かな 心	【生徒指導の充実と豊かな心の育成】	職員内での情報交換は定期的に行われ、支援・援助についても確認し、職員は積極的に関わっている。生徒会活動もそれぞれの生徒が意欲的に取り組み、自己肯定感を感じていると思われる。清掃は各持ち場でよく取り組んでいるが、「気づき」の清掃まで高めたい。いじめ調査は毎月行い、状況を確認しているが事後対応もあり留意したい。今後は授業中も含め、生徒指導の3機能(「自己決定の場」「自己存在感」「共感的理解」)を生かした支援・援助を心がけたい。	3.0	3.0	生徒会活動が以前より活性化されていることを聞いた。少ない人数なので大変だと思うが、今後も頑張ってもらいたい。学校での出来事や活動の予定について家庭ではどれぐらい会話しているのか気になる。あいさつの状況は下を向いていたり、あいさつの声が小さかったりすることもあるので、今後少しずつでも改善できるとよいのではないかと。また、車で送り迎えしてもらおう生徒が固定化されている。できるだけ自力で登校してもらいたい。	
	1 生徒理解を基盤にした自己肯定感の育成	生徒は少人数であるが、多様な考え方や価値観をもっているため、今後もSCやSSWと連携して支援していきたい。	3.3			
	2 生徒会活動の活性化	避難訓練・引き渡し訓練、自転車点検、交通教室等は計画的に実施できた。雨の日など自力登校できない生徒が増えつつある。	3.8			
	3 心の教育の充実と美化意識の高揚					
	4 生徒の実態把握と困り感に寄り添う支援					
健 や かな 体	【健康な体づくりと体力の向上】	体育や部活動には意欲的に取り組む姿勢が見られるが、体力は向上しているとはいえない。食の大切さをあらゆる機会(給食感謝週間・交流給食など)を通して、また掲示物等で伝えている。	3.1	3.0	部活動での成績が昨年度に比べたら、やや劣るが、個人では、市町村対抗駅伝の選手に選出されるなど活躍している生徒もいて、頼もしさを感じる。弁当の実施や給食の残滓ゼロを聞いて、食の大切さを実感している様子が見える。	
	1 体力の向上や食育の充実	通信や座談会等で啓発を行った。座談会はゲーム・スマホについて考えるよい機会となったが、ゲームに依存的な生徒もいる。	2.9			
特 色 あ る 教 育	【後川内ならではの教育の推進】	情報発信は定期的に行い、学校の様子を家庭や地域に伝えている。東雲太鼓など地域の方に指導していただき、地域でも発表することが出来た。生徒には、よい経験となり地域への貢献にもつながっている。小中連携については、合同行事など連携がとれ、よい成果を残している。校内研修、生徒指導面、学校評議員会で更に連携が図れるようにしたい。	3.2	3.0	地域と接する機会が以前より少なくなってきたように思う。なかなか時間がとれないと思うが、その機会を少しでもつくってほしい。後川内夏祭りでは、中学生の活動が重きをなしている。今後も頑張ってもらいたい。	
	1 地域の教育資源や教育力を生かした教育の活性化					
【 総 評 】	2 小中一貫教育の推進					
	1 本年度の取組について 知・徳・体・特色ある教育で、明確なビジョンの基に生徒の成長を願って、学校・家庭・地域が十分ではないが、それぞれの役割を果たしていると思う。まだまだ伸ばすことのできる生徒たちなので、今年度良かったことを更に次年度につなげてもらいたい。					
	2 次年度への改善に向けて 学力を高めるための家庭学習の改善や小中連携の深まり、積極的な生徒指導等に取り組み、子どもたちが安全で楽しく学校生活を送れるように、学校はもとより家庭・地域と連携してできることをやっていきたい。					